⑺　ＢＥＭＳ

判断基準中、目標及び措置部分の１　エネルギー消費設備等に関する事項の⑺ＢＥＭＳの項目で規定する目標及び措置の実現に資する設備等の具体例としては、次に掲げる設備等が有効であることから、中長期的な計画の作成における検討対象として掲げるものである。

設備・システム・技術名	具　体　的　内　容
エネルギー解析機能	エネルギー消費量の評価や、エネルギー消費と室内環境との関係等について分析する機能。
室内環境管理機能	温度、湿度などの室内環境データを記録・管理する機能。
設備運用管理機能	空気調和・照明設備の運転データを記録・管理する機能。
エネルギー負荷予測制御機能	気象条件やカレンダー情報等の条件から熱負荷を予測計算する機能をコンピュータに組み込み、自動で最適な運転を行う機能。
検収機能	各設備機器が設計条件どおりに機能しているかを分析し、再調整の必要性などの情報を提示する機能。
総合的な省エネルギー制御機能	空気調和設備、電気使用設備、ボイラー設備、給湯設備等を統合的に管理し、総合した消費エネルギーが最小になるように自動制御する機能。

⑻　コージェネレーション設備

判断基準中、目標及び措置部分の１　エネルギー消費設備等に関する事項の⑻コージェネレーション設備の項目で規定する目標及び措置の実現に資する設備等の具体例としては、次に掲げる設備等が有効であることから、中長期的な計画の作成における検討対象として掲げるものである。

①　コージェネレーション設備

設備・システム・技術名	具　体　的　内　容
エンジン式コージェネレーション設備	ガスエンジン、ディーゼルエンジンを原動機とし、軸動力を発電機・圧縮機等の駆動力として利用すると共に、エンジン冷却水と排ガスから排熱を回収して熱源として利用するもの。特に動力又は電力需要とともに主として温水需要が大きい場合に有効。
ガスタービン式コージェネレーション設備	ガスタービンを原動機とし、軸動力を発電機・圧縮機等の駆動力として利用するとともに、排ガスから排熱を回収して熱源として利用するもの。特に動力又は電力需要と共に主として蒸気需要が大きい場合に有効。また、需要バランスが不規則な場合には、蒸気をタービン発電機で電気に変換できるものが有効。
燃料電池コージェネレーションシステム	原動機の代わりに燃料電池を使用して電力及び温水又は蒸気を発生させ利用するもの。電力需要と共に温水又は蒸気需要が大きい場合に有効。

②　排熱の有効利用

設備・システム・技術名	具　体　的　内　容
排熱利用冷温熱製造装置	コージェネレーション設備の排熱を熱源とする吸収冷凍機、排熱利用吸着式冷凍機及び補助熱源として利用する排熱投入型吸収冷温水機。
排気利用デシカント空気調和システム	コージェネレーション設備の排熱を乾燥剤の再生に利用した除湿システム。
高効率熱交換器	コージェネレーション設備の排熱を効率よく温水や蒸気等に変換、また気体の加熱に利用するため、伝熱面積を増加させた熱交換器。

⑼　電気使用設備

判断基準中、目標及び措置部分の１　エネルギー消費設備等に関する事項の⑼電気使用設備の項目で規定する目標及び措置の実現に資する設備等の具体例としては、次に掲げる設備等が有効であることから、中長期的な計画の作成における検討対象として掲げるものである。

①　受変電、配電設備

設備・システム・技術名	具　体　的　内　容
高効率変圧器	低損失磁性体材料を使用した変圧器及び低損失構造の変圧器。
負荷電圧安定化供給装置	高い電圧による負荷中心点への配電、インピーダンスの低減によっても、なお、電圧降下が大きいか許容電圧変動範囲に収まらない場合に負荷時タップ切換変圧器、負荷時電圧調整器、誘導電圧調整器等の電圧調整装置により安定した電圧で供給する装置。
変圧器の台数制御装置	変圧器の負荷率を監視し、系統の並列、解列により無負荷損の削減と負荷率が向上するように変圧器の台数を制御する装置。
変圧器設備容量の適正化	電力使用量、負荷率等に見合った設備容量に変更すること。
400ボルト級配線設備	空気調和設備、換気動力設備、衛生動力設備、昇降機設備、照明設備等に対する電気供給のための配線設備で、400ボルト級の三相４線式配線方式のもの。100／200ボルト級に比較し配電損失が低減できる。
高効率無停電電源装置	電源周波数及び電圧が安定している状態では商用電源を直接使用し、停電時及び周波数変動時には瞬時にバッテリー電源等の直流をインバーターにより交流に変換して交流電力を供給する無停電電源装置。常時インバーター運転を行わないので変換ロスが低減できる。
電力貯蔵用電池設備	昼間の電力ピークを抑え、負荷率を向上させるために使用する高効率で大容量な蓄電設備（ナトリウム硫黄電池、ニッケル水素電池等）。

②　力率改善

設備・システム・技術名	具　体　的　内　容
進相コンデンサ	事業場受電端又は遅れ無効電力を多量に発生する設備近傍に、油入り、乾式等の電力コンデンサ（進相コンデンサ）を設置することにより力率を改善させる。
自動力率改善装置	系統の無効電力または力率を測定し、系統力率が100％となるよう、進相コンデンサの投入・開放を自動的に行う力率改善装置。
モーター体型進相コンデンサ	モータ単体毎に設置する進相コンデンサで、設置することにより個別負荷設備ごとに力率を改善することができるもの。